

第六回 八重洲「本書く派」寄席

柳家花緑落語会&サイン会

『花緑の幸せ入門 「笑う門には福来たる」のか？
～スピリチュアル風味～』刊行記念

日時: 2017年8月23日(水)

19時00分～(開場:18時30分)

※落語会終了後、サイン会を開催予定です。

場所: 八重洲ブックセンター本店 8階ギャラリー

八重洲[本書く派]寄席

下町、八重洲にて江戸の伝統話芸『落語』を書籍を出されている噺家さん、書店との縁の深い噺家さんを中心に
お楽しみいただく、八重洲ブックセンターならではの落語会です。

第六回は9歳で初高座、22歳で戦後最年少真打ちの落語家柳家花緑師匠。

幸せについて考え続けてきた一冊です。新刊刊行を記念して、一席ご披露いただきます。

柳家花緑(やなぎやかろく)

1971年東京生まれ。本名・小林九

9歳の頃より落語を始め1987年3月、中学校卒業後、祖父である故・五代目柳家小さん入門。1994年、戦後最年少の22歳で真打ち昇進。

スピード感溢れる歯切れの良い語り口が人気で、古典落語はもとより、

劇作家などによる新作落語にも意欲的に取り組んでいる。

着物と座布団という古典落語の伝統を守りつつも、近年では47都道府県落語

などを洋服と椅子という現代スタイルで口演する“同時代落語”にも取り組んでおり、

落語の新しい未来を切り拓く旗手として注目の存在である。

著書に『僕が、落語を変える。』(新潮社)

『柳家花緑と落語へ行こう』(旬報社)

『落語家はなぜ噺を忘れないのか』(KADOKAWA)など。

【2017年8月4日発売新刊】

『花緑の幸せ入門

「笑う門には福来たる」のか？～スピリチュアル風味～
(竹書房)

花緑の落語を聴いて身体の痛みが

軽減するのcaという実験や、笑いの研究をされた

筑波大名誉教授・村上和雄先生との対談、

QRコードで駄じゃれ100連発！

などなど、この1冊で笑える入門書です！



参加方法

▼参加定員 : 80名(申し込み先着順) ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

▼申込方法 : 1階カウンターにてお申込みを承ります。(対象書籍発売前は整理券のご予約となります。)

対象書籍発売後は、当店でご購入いただいた際、参加ご希望の方に整理券を差し上げております。(整理券1枚につき、お1人のご入場とさせていただきます。)

お電話によるお申込みも承ります。(電話番号: 03-3281-8201)

※対象書籍のご購入はイベント当日でも構いません。

▼対象書籍 : 『花緑の幸せ入門「笑う門には福来たる」のか？～スピリチュアル風味～』(本体1200円+税) (発売日: 8月4日)

落語会終了後、お買い上げの本(柳家花緑師匠の著書)にサインをさせていただきます。色紙・グッズ等へのサインはできません。

主催: 八重洲ブックセンター 協賛: 竹書房